

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立西米良中学校（宮崎県）【指定校】

【取組内容】 共有シートを用いた協働作業の中で実現する研修の深化

模擬授業の様子

研究協議会の様子

協議会における共有シート



生徒役として小中学校の職員に参加してもらい、模擬授業を行った。



授業後の協議場面で共有シートを用いながら入力し、全体共有の中で情報の整理分析を行った。
様々な角度から授業を分析できたことで、研究に生かすことができた。

主体的・協働的に学び合い、創造性豊かな児童生徒の育成
～学校と家庭をつなぐコネクスト学習を基盤とした複線型の授業づくりを通して～

模擬授業④ 2班

場面	観点	評価
1. 導入	・協働する中で学び合い、創造性豊かな児童生徒の育成 ・学校と家庭をつなぐコネクスト学習を基盤とした複線型の授業づくりを通して	・協働する中で学び合い、創造性豊かな児童生徒の育成 ・学校と家庭をつなぐコネクスト学習を基盤とした複線型の授業づくりを通して
2. 展開	・協働する中で学び合い、創造性豊かな児童生徒の育成 ・学校と家庭をつなぐコネクスト学習を基盤とした複線型の授業づくりを通して	・協働する中で学び合い、創造性豊かな児童生徒の育成 ・学校と家庭をつなぐコネクスト学習を基盤とした複線型の授業づくりを通して
3. 評価	・協働する中で学び合い、創造性豊かな児童生徒の育成 ・学校と家庭をつなぐコネクスト学習を基盤とした複線型の授業づくりを通して	・協働する中で学び合い、創造性豊かな児童生徒の育成 ・学校と家庭をつなぐコネクスト学習を基盤とした複線型の授業づくりを通して

事後アンケート

アンケートの結果をAIで分析

研究推進委員会等で報告

R6 第三回小中合同主題研究会アンケート

研究協議会前実施されました。先生方のご意見を大切にさせていただきます。ご協力ありがとうございます。

アカウントを切り替える

共有なし

* 必須の欄です

1. 本日の実践研修会について、感想をお書きください。（学びになったこと、時間配分等）

回答を入力

2. 本日の実践研修会について、感想をお書きください。（学びになったこと、時間配分等）

回答を入力

参加した教職員にアンケートを実施した。

1. 本日の授業を受けて、成果についてお書きください。（学びになったこと、良かったこと等） 1. 複線型授業の評価と理解 小学校の先生方の授業を通じて理解：複線型の指導について小学校の先生方の授業や小中学校の授業を通じて理解でき、振り返りの視点：丁寧な指導、振り返りの視点が授業の初めに生徒と共有されていたことを評価。 2. 研究と教材作成の意欲 自作教材で取り組みたい：自分の教材で取り組みたいという意欲を示した。 3. 評価の重要性 最終評価の示し方：どこまでやればよいかなど、児童・生徒に事前に提示することの大切さを学んだ。 4. 生徒の自主性とICTツールの活用 生徒自身が学びを選択できる場：複線型の授業について良い機会と捉えた。 自己決定の大切さとICTツール：生徒が自己決定できることの大切さ、ICTツールを使った学びの方法について言及。 5. 教師の姿勢と研究の深化 信喜先生の積み重ねの成果：生徒の様子や反応から、信喜先生の授業の積み重ねの成果を感じた。 研究を深める意欲：今後も複線型の指導法について研究を深める意欲を示した。 6. 授業方法とアウトプットの重要性 他者の事例を参考に：アウトプットや他者の事例の仕方を勉強になった。	2. 本日の授業を参観して、課題だと思ったことについてお書きください。 1. 板書の在り方 板書の工夫が必要という意見が見られます。これにより、授業の内容が生徒にとってより分かりやすく、理解しやすくなります。 2. 生徒同士の理解と評価 生徒の発表時に他の生徒がどれだけ理解しているかについての確認が重要とされています。他者参観や相互評価の場面を増やすことが課題です。 生徒同士の評価や相互参観を取り入れることで、発表内容に対する理解度を高めることができます。 3. 事前・事後の授業計画 授業前後の計画についての関心が示されています。特に、事前の準備や事後の振り返りが学びの効果を高めるために重要です。 4. 複線化の工夫 授業の複線化（多面的なアプローチ）をどれだけ意図的に行うかが鍵となっています。教師がファシリテーターとしてどのように関わるか、また生徒にその意図を伝えることが重要です。 児童主導での複線化を進める際の教師の役割についても考慮が必要です。 5. 協働的な学び 協働的な学びの中で、個々の学力をどのように定着させるかが課題です。協働編纂の活動や習熟の時間を確保することが必要です。 生徒同士の協働学習の時間設定を増やすことで、学びの効果が期待できます。 6. 発表・フィードバックの機会	3. 本日の研究協議会についての感想を教えてください。（時間配分、研究協議会等） 1. 全体的な満足度 満足度の高さ：多くの参加者が研究協議会に対して非常に満足しており、「いつも運営が丁寧でありがとうございます」「大変参考になりました」と感謝の意を示しています。 運営への感謝：「お忙しい中、企画・運営・授業等々ありがとうございます」という意見があり、運営全般が高く評価されています。 2. 協議内容と進行 視点の多様性：中学校の先生の意見を聞くことで新しい視点に触れることができたと感じている参加者が多いです。 協議の進めやすさ：「協議の視点が明確だったのが話し合いが進めやすかった」という意見があり、協議内容が明確であったことが好評でした。 3. 時間設定と形式 視点の多様性：「時間がたっぷり設定されていた」という意見があり、十分な時間が確保されていたことが評価されています。 グループ協議の効果：「個別協議も盛り上がりました」「グループで協議できてよかった」と、グループ形式での協議が効果的だったと感じる参加者が多いです。 4. 指導と評価 指導主事の助言：中部教育事務所の指導主事からの指導が非常に参考になったという意見があり、授業のデザインに関する視点を学ぶことができたことが評価されています。 評価の難しさ：「指導と評価の一体化の難しさを感じました」という意見があり、指導と評価を一体化することの難しさが課題として挙げられています。
---	---	--

活用のメリット

クラウドの活用により、意見の集約、共有、分析、保存が容易になり、協議が深まりのあるものになる。